

施策マネジメントシート(2022年度の振り返り、総括)

作成日 2023 年 6 月 30 日

基本目標	I	誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち	主管課 課長	名称 上下水道課 鉢木 伸史	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 6 積極的なエネルギーを確保する 11 持続可能な都市と居住地を実現する
施策	11	水道の整備	関係課		

施策の目的	対象 町民	意図 安全な水道水の供給を安定して受けられる。	基本事業	基本事業名	対象	意図
				1 安全な水道水の安定供給	町民	安全な水道水の供給を安定して受けられる。
				2 水道事業の健全運営	町民	適正な料金で水道水の供給を受けられる。
				3		
				4		

施策の基本方針	・清浄な水道水の供給を図り、安心安全な水道への切り替えを促進します。 ・老朽化した施設の更新を計画的に進めるため、財政健全化計画やアセットマネジメントを含む水道ビジョン等を策定し、限られた財源で最大限の成果が得られるよう取り組みを推進します。
---------	--

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A 水道普及率	%	実績値	96.6	96.7	96.7	96.7	99.7	99.8	99.9	
			目標値		96.7	96.7	96.8	96.8	96.9	96.9	
	B 水質に関する苦情件数	件	実績値	0	0	0	0	0	2	1	
			目標値		0	0	0	0	0	0	
C			実績値								
D			目標値								
E			実績値								
			目標値								

指標設定の考え方	A) 数値が高まれば、結果として町民が安全な水道水の供給を安定して受けられていることに繋がるため成果指標とした。 給水人口/給水区域内人口(給水人口は町営水道のみ) B) 件数が減れば、町民が安全な水道水の供給を安定して受けられているといえるため、成果指標とした。広範囲にわたる相当な被害で直接町に苦情を申し入れた件数。
----------	--

目標値設定の考え方	A) 水道普及率を96.9%まで向上させる。近年のライフスタイルの変化により、自家水(井戸水)などの水質が変動してきているため、地下水を利用している町民の方々に水の安全性を確認してもらい、自発的に町営水道へ移行していただく。 B) 水質監視の強化や危機管理体制の充実を図ることにより、安心安全な水道供給に努め、苦情件数0件を目指します。
-----------	---

施策のための目的・割合・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ・漏水の発見などに対する通報を行う。 ・利用者として常に水道水の品質を監視する。 ・水道使用料を未納無く納入する。	2. 行政(町、県、国)の役割 ・安定水量を確保し、安心安全な水道水の供給と共に水質を向上させる。 ・水道施設を整備(新規・更新)する。 ・効率的な運営を図り、可能な限り水道料金の値上げ抑制を図る。
------------------	--	--

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? ・人口減少や節水意識により水道料金の徴収額は上がらないことが予想される。 ・施設の老朽化による突発的な水道事故の発生が懸念される。 ・すべてが上水道事業となつたため、簡易水道の補助対象外となり、併せて簡易水道債・過疎債も対象とならないため、財源(特定)の確保が難しくなる。 ・安心安全な水道水の維持に欠かせない技術者不足が懸念される。	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ・水道料金の改定には慎重な意見が多い。 ・老朽化対策を計画的に進める必要がある。 ・突発的な断水周知が行き届かない事がある。
-----------	--	---

施策	11	水道の整備	主管課	名称 上下水道課 課長 鈴木 伸史
----	----	-------	-----	----------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	<input type="checkbox"/> かなり向上した。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ① 時系列比較 どちらかといえば向上した。		
	<input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態)		上水道事業は当初認可より50年が経過し、水道事業は高止まりに近い状態である。 苦情に関しては、カビ臭が1件あった。膜濾過の洗浄時における、有機物と次亜塩素の結合によるカビ臭が発生。人体に影響はなく、捨水して対応し安心安全な水道水を供給できている。
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。		
	<input type="checkbox"/> かなり低下した。		
	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 他団体との比較 どちらかといえば高い水準である。		他団体の水道普及率（R3年度）は沼田市99.9%、片品村95.6%、昭和村98.7%、川場村97.1%であり、各自治体とも高止まりとなっている。
	<input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。		
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。		
	<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。		①水道普及率は、目標値96.9%に対し、3ポイント増加の99.9%となり、目標値を達成した。 ②水質に関する苦情件数は、目標値0件に対し、1件の苦情があったが、迅速な対応により早期に復旧することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> ③目標の達成状況 目標値を多少上回った。		
	<input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。		

基本事業の成果指標	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	1 安全な水道水の安定供給	A 水質基準超過件数	件	実績値	0	0	0	0	0	0	0
		B		目標値	0	0	0	0	0	0	0
	2 水道事業の健全運営	A 有収率	%	実績値	78.2	78.2	78.2	78.2	78.2	78.2	78.2
		B		目標値	78.3	78.5	79.0	79.5	79.7	79.7	80.0
	3	A		実績値							
		B		目標値							
	4	A		実績値							
		B		目標値							

今後の課題と取り組み（案）	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み（案）
	1 安全な水道水の安定供給	町内の水源には表流水を引用しているところが多く、そのほとんどが砂ろ過にて浄水している。今後もクリプト対策が必要。	クリプト対策浄水施設の導入を検討
	2 水道事業の健全運営	将来の健全な運営のため、配水施設の統廃合計画とストックマネジメント計画が必要。最終的にアセットマネジメント計画の策定が必要。	各配水施設の統廃合の素案を策定する。 施設台帳を整理し、固定資産を洗い直しストックマネジメント計画を策定する。
	3		
	4		

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000011		水道事業会計繰出事業(消防)								①事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費 46,509,000 円	
施 策 体 系	施策		11	水道の整備								一般会計からの繰出事務(基準内繰出分) ・建設改良等に伴う出資金繰出 ・起債償還等に係る補助金繰出		-			
	基本事業		02	水道事業の健全運営								②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
組織名			生活水道 課		上下水道 係		課題なし								出資金・補助金受入業務		
事業期間	継続事業		会 計	1	款	4	項	3	目	1	令和 3年度		令和 4年度		単位		
											46,622		46,509		千円		

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000011		水道事業会計繰出事業(消防)								①事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費 17,486,920 円	
施 策 体 系	施策		11	水道の整備								・新規要望箇所の消火栓設置工事 ・町内630箇所の既設消火栓の管理		・消火栓はあくまで初期消火のためにあるという認識を各消防団に伝えること。 ・消火栓の点検のための開閉は水道事業者が適切におこなうこと。			
	基本事業		02	水道事業の健全運営								②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
組織名			生活水道 課		上下水道 係		・緊急時の消火栓使用には配水池の能力により限界がある。 ・水道事業者以外が消火栓の点検のため開閉を行うと水道の濁りの原因となる。								消火栓の管理及び設置		
事業期間	継続事業		会 計	1	款	9	項	1	目	3	令和 3年度		令和 4年度		単位		
											18,055		17,487		千円		